

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	栗東市地域住宅整備計画									
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度			交付対象	栗東市					
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全的な維持管理及び耐久性の向上などを図る改善を実施することによって、市営住宅の長寿命化を図る。 ・ 環境に配慮した、安全安心で快適に暮らせる住宅ストックの確保をする。 									
計画の成果目標（定量的指標）										
①改善（屋上防水・屋根葺き替え）棟数の割合 ②改善（外壁改善）棟数の割合 ③改善（給排水管・ガス管・UB）棟数の割合 ④給水方式の変更棟数の割合										
定量的指標の定義及び算定式										
						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H30当初)	中間目標値		最終目標値 (R4末)	
①栗東市公営住宅等長寿命化計画(H30～R9)において屋上防水工事が計画されている公営住宅棟数に占める当該完了棟数の割合 (改善割合) = (工事完了棟数) / (栗東市公営住宅等長寿命化計画期間内実施予定棟数) (%)						0%		66%	※表外下記参照	
②栗東市公営住宅等長寿命化計画(H30～R9)において外壁改善工事が計画されている公営住宅棟数に占める当該完了棟数の割合 (改善割合) = (工事完了棟数) / (栗東市公営住宅等長寿命化計画期間内実施予定棟数) (%)						0%		42%		
③栗東市公営住宅等長寿命化計画 (H30～R9) において給排水管工事が計画されている公営住宅棟数に占める当該工事完了棟数の割合 (改善割合) = (工事完了棟数) / (栗東市公営住宅等長寿命化計画期間内実施予定棟数) (%)						0%		96%		
④栗東市公営住宅等長寿命化計画 (H30～R9) において給水方式の変更が計画されている公営住宅棟数に占める当該工事完了棟数の割合 (改善割合) = (工事完了棟数) / (栗東市公営住宅等長寿命化計画期間内実施予定棟数) (%)						0%		100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	383.6 百万円	A	375.2 百万円	B	0.0 百万円	C	8.4 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.2%
事後評価（中間評価）										
○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期				
栗東市公営住宅等運営委員会にて実施						令和5年7月				
						公表の方法				
						栗東市ホームページにて公表				
※①【屋上防水等】：整備計画期間内実施 6棟 (安養寺団地6棟) ÷長寿命計画内の予定棟数 9棟 (安養寺団地6棟、手原団地2棟、大橋団地1棟) = 66% ②【外壁改善】：整備計画期間内実施 6棟 (安養寺団地1棟、大橋団地2棟、十里改良住宅3棟) ÷長寿命計画内の予定棟数 14棟 (手原団地2棟、十里団地4棟、十里改良住宅4棟、下戸山団地4棟) = 42% ③【給排水設備等】:整備計画期間内実施 1棟 (大橋団地A棟のみ) ÷長寿命計画内予定棟数 8棟 (安養寺団地6棟、大橋団地2棟) = 12% ④【給水方式変更】:整備計画期間内実施 1棟 (大橋団地A棟のみ) ÷長寿命計画内の予定棟数 2棟 (大橋団地A・B棟) = 50%										

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H30	R1	R2	R3	R4		
A-1	住宅	一般	栗東市	直接	栗東市	-	-	地域住宅計画に基づく事業 (公営住宅等ストック総合改善事業)	安養寺団地他	栗東市						375.2	
											40.4	128.9	74	88.4	43.5		
											合計					375.2	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H30	R1	R2	R3	R4		
B-1	住宅	一般	栗東市	直接	栗東市	-	-	地域住宅計画に基づく事業 (地域住宅政策推進事業)	安養寺団地他	栗東市						0.0	
											合計					0.0	

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H30	R1	R2	R3	R4		
C-1	住宅	一般	栗東市	直接	栗東市	-	-	地域住宅計画に基づく事業 (公営住宅移転事業・基本計画策定委託)	安養寺団地他	栗東市				8.4		8.4	
											合計					8.4	

番号	一体的に実施することにより期待される効果											公営住宅等移転事業では、事業執行の円滑化を図ることができた。また、公営住宅の整備計画では、調査を実施し、効率的な公営住宅の整備に向けた計画策定をすることができた。					備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する

交付対象事業の効果の発現状況

- ・安養寺団地の屋根葺き替え工事により、屋根防水の耐久性が向上した。
- ・大橋団地の外壁改修工事により、耐久性が向上した。

II 定量的指標の達成状況 (改善割合) = (工事完了棟数) / (栗東市公営住宅等 長寿命化計画期間内 実施予定棟数) (%)	改善(屋上防水・屋根 葺き替え)棟数の割合	最終目標値	66%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	66%		
	改善(外壁改善)棟数の 割合	最終目標値	42%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	42%		
	改善 (給排水管・ガス・UB) 棟数の割合	最終目標値	96%	目標値と実績値 に差が出た要因	予算制約等により計画期間中に実施できなかった工事があったため、目標値と実績値に差が生じた。
		最終実績値	12%		
	給水方式の 変更の割合	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	予算制約等により計画期間中に実施できなかった工事があったため、目標値と実績値に差が生じた。
		最終実績値	50%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	住生活基本計画や長寿命化計画の見直しでは、政策の検討及び見直しを行い、調査・計画策定を実施することができた。										
----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項 (今後の方針等)

ストック総合改善事業は、引き続き長寿命化計画に基づく改善を実施する。
住宅施策等の見直しに伴う調査検討により、効果的・効率的な公営住宅の整備及び改善を図る。